

組合のリブランディング事例

日本生産性本部 人事部長クラブ12月例会

日本生産性本部は12月18日、第98期「人事部長クラブ」の12月例会を都内で開催（オンライン併用）した。当日は、「変わる組合

井上氏は冒頭、同組合は、2012年には組合加入率の低下や執行部の担い手不足などを背景に組合機能を停止し、解散も視野に入

に「対立・闘争」を前面に出していた労働組合の組織イメージが蔓延していたことなどを挙げた。

「組合員」ととらえたマーケティングの発想で、現状分析（顧客ニーズの把握）やブランドの再構築（サービスの革新）を実施していた。

組合員を対象にアンケートを実施したところ、従来組合が取り扱ってきた「評価」や報酬といったテーマに加え、「キャリア」に

「経営や人事、直属の上司と組合員の間に距離が生まれていること」や「成長を実感できる機会が少ないこと」などを把握した。

また、会社と組合員が抱えている課題として、「経

日、変わる組合

2015年に会社側とユニオンショップ協定を締結したことを機

そこで、組合では、2015年に会社側とユニオンショップ協定を締結したことを機

組合員を対象にアンケートを実施したところ、従来組合が取り扱

ってきた「評価」や報酬といったテーマに加え、「キャリア」に

「経営や人事、直属の上司と組合員の間に距離が生まれていること」や「成長を実感できる機会が少ないこと」などを把握した。

また、会社と組合員が抱えている課題として、「経

また、会社と組合員が抱えている課題として、「経